

Hitachi Koki

日立インパクトドライバ

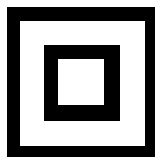
無段変速

12mm WH 12VC

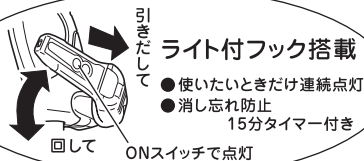
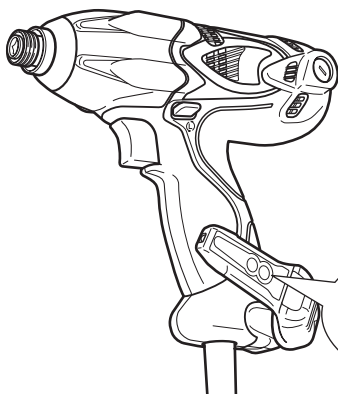
12mm WH 12VD

取扱説明書

このたびは日立インパクトドライバをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



フックの詳しい使い方は、12 ページを参照してください。

スピード パワー
SPEED + POWER
SUPER IMPACT 112

HITACHI

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
インパクトドライバの使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕様	6
標準付属品	7
別売部品	8
用途	11
ライト付フックの使用方法	12
ご使用前に	15
使い方	17
締付け作業上のご注意	17
保守・点検	20
ご修理のときは	21
全国営業拠点	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



警 告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。

- 屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。



警 告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

㉓ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉔ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉕ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違えて組立てると、二重絶縁構造ではなくなり、危険です。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

インパクトドライバの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、インパクトドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。



警 告

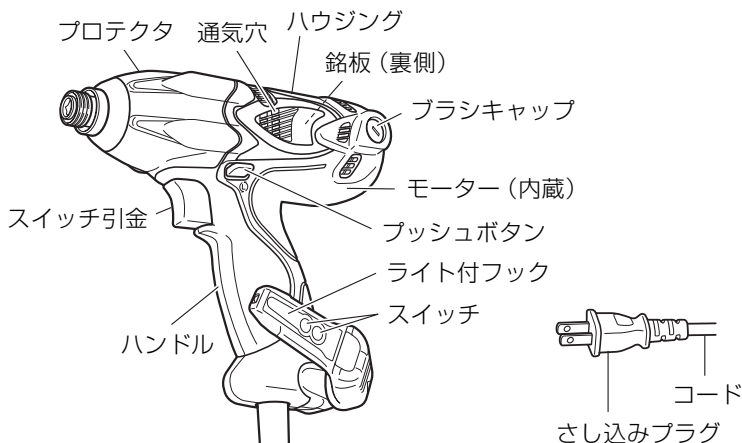
- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中は、機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



注 意

- ① 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
また、コードを引っかけたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

各部の名称

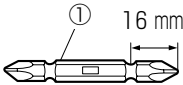
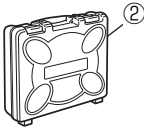
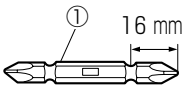


仕 様

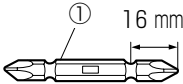
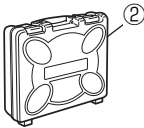
	WH 12VC	WH 12VC (N) WH 12VC (SC)	WH 12VD (SC)
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V		
能 力	小 ね じ… 4 mm～10 mm 普通ボルト… M 6～M 14 高力ボルト… M 6～M 12		小 ね じ… 4 mm～8 mm 普通ボルト… M 5～M 12 高力ボルト… M 5～M 10
締 付 け ト ル ク	最大 140 N・m {1430 kgf・cm} 〔 M 14 高力ボルト (強度区分 12.9) 電圧 100 V 締付時間 3 秒 ソケットアダプタ+六角ソケット使用 継ぎコードなしの場合 〕		最大 120 N・m {1220 kgf・cm} 詳しくは 18、19 ページの図を参照してください。
モ ー タ ー	永久磁石励磁式直流モーター		
全 負 荷 電 流	3.8 A		2.8 A
消 費 電 力	360 W		260 W
無 負 荷 回 転 数	0～2600 min ⁻¹ {0～2600 回/分}		0～2100 min ⁻¹ {0～2100 回/分}
打 撃 数	0～3300 min ⁻¹ {0～3300 回/分}		0～3000 min ⁻¹ {0～3000 回/分}
質 量	1.2 kg (コード、フックを除く)		1.1 kg (コード、フックを除く)
コ ー ド	2心キャブタイヤコード5m	2心キャブタイヤコード10m	2心キャブタイヤコード10m

標準付属品

1. WH 12VC

WH 12VC WH 12VC (SC)	  ① プラスドライバビット (No.2、長さ 65 mm) …… 1 本 ② プラスチックケース …… 1 個
WH 12VC (N)	 ① プラスドライバビット (No.2、長さ 65 mm) …… 1 本

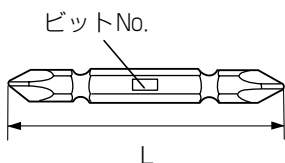
2. WH 12VD

WH 12VD (SC)	  ① プラスドライバビット (No.2、長さ 65 mm) …… 1 本 ② プラスチックケース …… 1 個
---------------------	--

別売部品

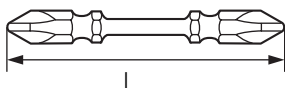
..... (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

1. プラスドライバビット



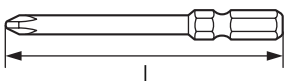
ビットNo.	L (mm)	コードNo.
No. 2	45	983005
	65	983006
	110	983007
	150	983008
No. 3	45	983010
	65	983011
	110	983012
	150	983013

2. トーションビット (5 本入)



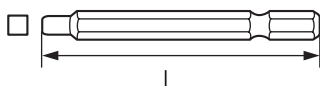
ビットNo.	L (mm)	コードNo.
No. 2	65	319387
	110	319388

3. 段付ビット (5 本入)



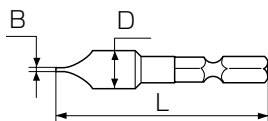
ビットNo.	L (mm)	コードNo.
No. 2	65	319389
	110	319390

4. スクエアヘッドビット



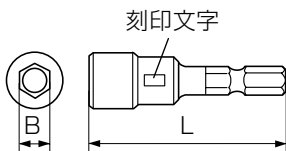
先端形状	L (mm)	コードNo.
□バートソンNo. 3	65	313493

5. ドライバビット



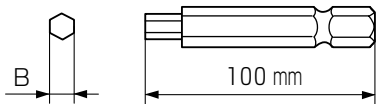
ビットNo.	B (mm)	D (mm)	L (mm)	コードNo.
ドライバビット 4 mm	0.8	7	50	955658
			70	955659
ドライバビット 6 mm	1	9	50	955673
			70	955674

6. ヘグザゴンソケット



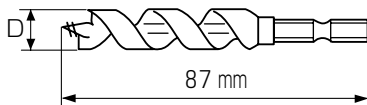
品 名	刻印文字	L(mm)	B(mm)	コードNo.
4 mmヘグザゴンソケット	7	55	7	955676
5 mmヘグザゴンソケット	8	55	8	955677
6 mmヘグザゴンソケット	10	55	10	955678
5/16" ヘグザゴンソケット	12	55	12	996173
8 mmヘグザゴンソケット	13	55	13	955679
10 mm (小形)ヘグザゴンソケット	14	55	14	996174
10 mmヘグザゴンソケット	16	55	16	996175
10 mmヘグザゴンソケット	17	55	17	996176
10 mmヘグザゴンロングソケット	17	127	17	302387
12 mmヘグザゴンロングソケット	19	115	19	996191
12 mmヘグザゴンロングソケット	19	170	19	305068
1 1/2" ヘグザゴンロングソケット	21	115	21	305067
1 1/2" ヘグザゴンロングソケット	21	170	21	996187
14 mmヘグザゴンロングソケット	22	170	22	996192
Pコン用ソケット	12	115	12	996189
フォームタイ用ソケット	無	120	—	996188

7. ヘグザゴンビット



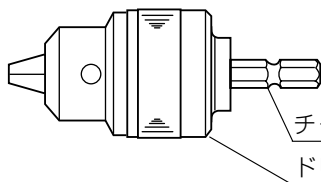
品 名	B(mm)	コードNo.
5 mmヘグザゴンビット	4	955686
6 mmヘグザゴンビット	5	955687
8 mmヘグザゴンビット	6	996183

8. 木 工 錐



品 名	D(mm)	コードNo.
木工錐 9mm (ドライバ用)	9	959175
木工錐 10.5mm (ドライバ用)	10.5	959176
木工錐 12mm (ドライバ用)	12	959177
木工錐 14mm (ドライバ用)	14	959182

9. ドリルチャックアダプタセット [コードNo. 996193]

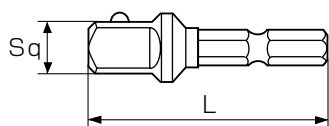


各種穴あけ作業に市販の錐を取付けてご使用ください。

チャックアダプタ (10VLA用) [コードNo. 996194]

ドリルチャック 10VLA [コードNo. 950271]

10. ソケットアダプタ

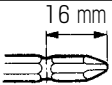


品 名	Sq(mm)	L (mm)	コードNo.
ソケットアダプタ (A)	9.5	45	305069
ソケットアダプタ (B)	12.7	55	305070

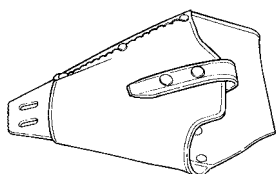
11. ビットピース [コードNo. 996184]



当社指定のビットはすべてLタイプですのでビットピースは不要です。ビットピースはSタイプのビットを取付ける場合にご使用ください。(16ページ参照)

L タイプ			ビットピースは不要です。
S タイプ			ビットピースが必要です。

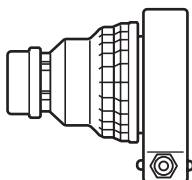
12. ホルスタ [コードNo. 307824]



作業中における機体の保持用にご利用ください。

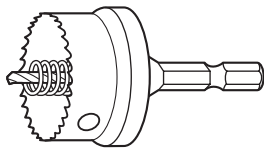
安全にお使いいただくために、ホルスタに添付してある説明書をお読みください。

13. ストップパ [コードNo. 319987]



ねじの締付け深さ調整用に、ご利用ください。使い方は、ストップパに添付してある説明書をお読みください。

14 . ハイスホールソー



薄鉄板
(1.6 mm)

アルミ板

FRP板

合 板

塩ビ板

アクリル板

サイディング

などの穴あけに。

外 径	コードNo.	外 径	コードNo.
12 mm	318973	26 mm	318987
13 mm	318974	27 mm	318988
14 mm	318975	28 mm	318989
15 mm	318976	29 mm	318990
16 mm	318977	30 mm	318991
17 mm	318978	31 mm	318992
18 mm	318979	32 mm	318993
19 mm	318980	33 mm	318994
20 mm	318981	34 mm	318995
21 mm	318982	35 mm	318996
22 mm	318983	36 mm	318997
23 mm	318984	37 mm	318998
24 mm	318985	38 mm	318999
25 mm	318986	—	—

用 途

小ねじ、小径ボルトなどの締付け、取りはずし

ライト付フックの使用方法



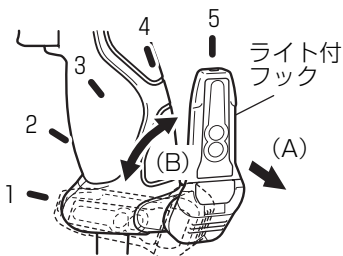
注 意

- ライト付フックを腰ベルトに掛けて機体を運ぶときは、機体の先端にソケット以外は取付けないでください。
錐などの先端がとがったものを取付けたまま腰ベルトに掛けると、けがの原因になります。
- ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

ライト付フックは

- 作業の合間に腰ベルトなどに吊下げるフックの役目
 - 暗い場所でボルト締め作業する際の補助用ライトの役目
- の2つの機能を持っています。

1. フックとしての使い方



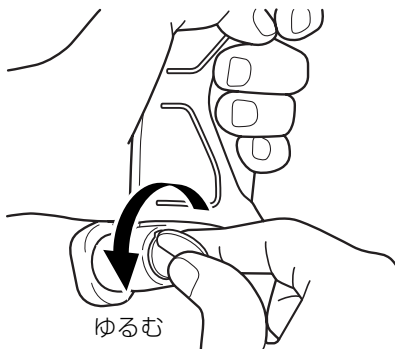
- (1) フックを矢印(A)の方向(手前側)に引き出します。
- (2) フックを矢印(B)の方向に回転させます。
- (3) 左図の1から5のいずれかの位置で、フックをはなしてください。中間の位置には調整できません。

2. 左右の付け替え方法



注 意

- フックはしっかりと取付けてください。
フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

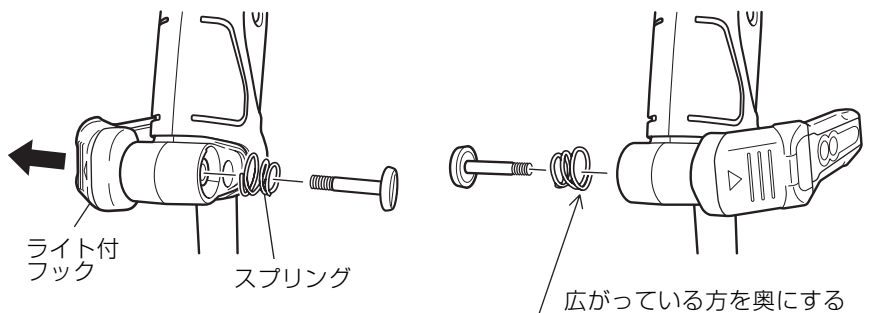


- (1) 機体をしっかり支え、コイン(10円玉など)または、お手持ちの⊖ドライバーを使用してねじをはずします。

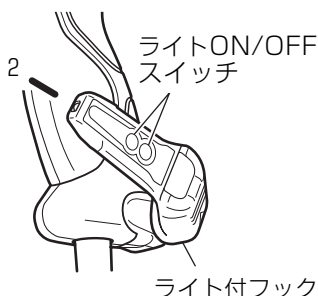
(次ページへ続く)

- (2) フックとスプリングをはずします。
- (3) 反対側にフックを取付け、スプリングを入れてねじを最後までしっかりと締付けてください。

注 ・スプリングの向きに注意してください。広がっている方を奥にして取付けてください。



3. 補助用ライトとしての使い方



- (1) フックの位置を図中2の位置に合わせます。照射位置が合わない場合は、取付け位置を調整してください。
- (2) フックのONスイッチで点灯、OFFスイッチで消灯します。電池消耗防止のため、小まめに消してください。
このライト付フックには消し忘れ防止のため、15分後に自動的に消灯する回路を組み込んであります。

○ライトの点灯時間の目安

単5 マンガン乾電池……………約 15 時間 (1 回 3 分で 300 回)
単5 アルカリ乾電池……………約 30 時間 (1 回 3 分で 600 回)

上記時間は目安です。

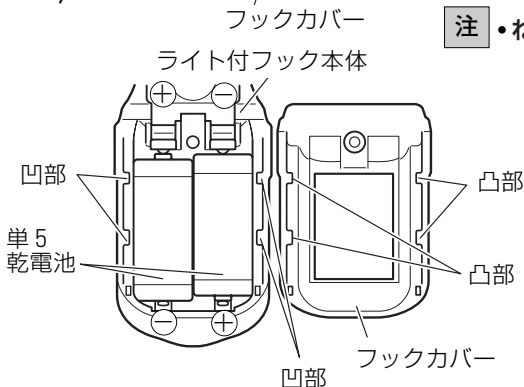
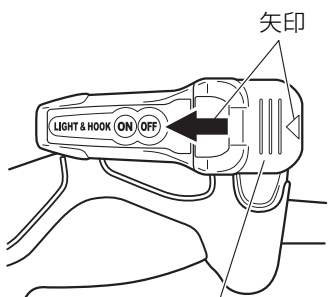
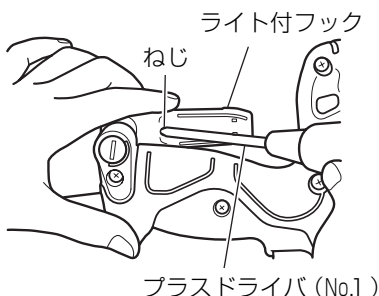
また、この機体にはお試し用としてマンガン乾電池が入っています。

4. 電池の交換のしかた



注 意

- 液漏れ、発熱、故障の原因になるため、下記のことに注意してください。
電池のプラス電極（+）、マイナス電極（-）を正しく入れてください。
電池は2本同時に交換してください。古い電池と新しい電池を混合しないでください。
使い切った電池は、すぐにフックから取り出してください。
- 電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- 電池の仕様表示に従って正しく使用してください。



- (1) フックのねじをプラスドライバ (No.1) ではずします。
- (2) フックカバーを矢印方向へ押しながら取りはずします。
- (3) 電池を取り出し、新しい電池を入れます。(フック本体の電池室の表示に合わせ、 $\oplus$ $\ominus$ を正しく入れてください。)
- (4) フック本体の凹部とフックカバーの凸部を合わせながら矢印方向と反対方向に押し込み、フックカバーを取付け、ねじを締付けます。電池は、市販品の単5、1.5Vをご使用ください。

注 •ねじの締過ぎに注意してください。

ご使用前に

ご使用になる前に次の準備をすませてください。

1. 作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「電動工具の安全上のご注意」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。



警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。2～4項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

2. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源やエンジン発電機で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

3. 継ぎ（延長）コード



警 告

- 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源が離れているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ（延長）コードをできるだけ短くして使用します。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 mm ²	20 m
1.25 mm ²	30 m
2 mm ²	50 m

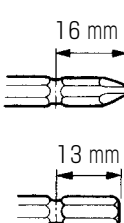
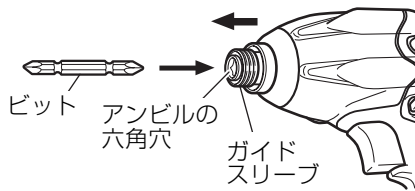
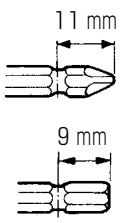
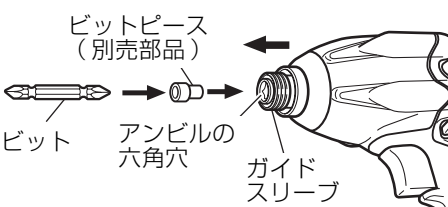
左の表は、コードの太さ（導体公称断面積）によって、機体には使用できるコードの最大長さを示します。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

4. ビットの取付け・取りはずし

ビットのサイズに合わせて、下表の手順で確実に取付けてください。

当社指定のビットのサイズはLタイプですので、ビットピース（別売部品）は不要です。Sタイプのビットを取付ける場合はビットピースが必要です。

ビットのサイズ	ビットピース	ビットの取付け方
Lタイプ 	不要	 ガイドスリーブを先端側に移動させ、ビットをアンビルの六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。
Sタイプ 	必要	 ガイドスリーブを先端側に移動させ、ビットピース、ビットの順でアンビルの六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。

取りはずす場合は、取付け方と逆の要領で行なってください。

- 注**
- ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットがアンビル六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。
 - 上記サイズ以外のビットまたはSタイプにビットピースを取付けずに無理に使用すると、作業中にビットが抜けたり、取りはずしが固くなることがあります。

5. 電源コンセントの点検

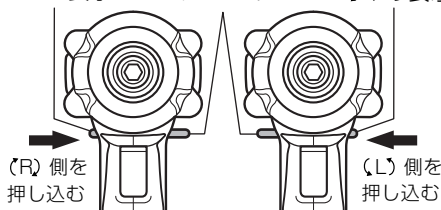
さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになると、過熱して事故の原因になります。

使 い 方

1. スイッチの操作、回転方向の切替え

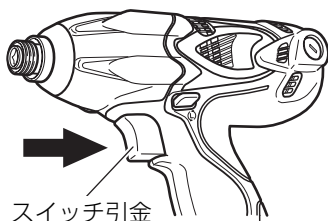
(R)の表示 プッシュボタン (L)の表示



正回転

逆回転

〔機体を先端から見た図〕



○ 上左図のようにプッシュボタンの (R) 側を押し込むと先端工具はハンドル側から見て右に回り (正回転)、上右図のように (L) 側を押し込むと左に回ります (逆回転)。

((R) (L) はハウジングに表示してあります。)

○ スイッチ引金の引込み量により、WH 12VCは $0 \sim 2600 \text{ min}^{-1}$ { $0 \sim 2600 \text{ 回/分}$ } まで無段階に回転数が変わります。

ねじ締め開始時には引金を少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。

また、スイッチ引金をはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

注 ・運転中、プッシュボタンの切替えはできません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから操作してください。

2. ねじの締付け、ゆるめ操作

ご使用になるねじに合ったビットを取付け、ビットの先をねじ頭部の溝に当て締付けます。

押付け力はねじの頭からビットがはずれない程度の力で十分です。

締付け作業上のご注意

1. 使用電源の電圧を調べてください

銘板記載の電圧 (100V) より高い電圧で使用すると、整流火花が大きくなり、モーターが故障する原因になるので、昇圧器を使用するときは特に電圧に注意してください。

2. 連続運転中は、プロテクタに手を触れないでください

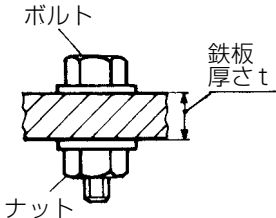
連続的にねじ締めする作業に使用する際は、プロテクタが熱くなるので、手を触れないでください。

3. 変速スイッチの使用上のご注意

スイッチは回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチ引金の引き込み量が少ない状態（低速回転域）でモーターを停止させるねじ締め作業を連続的に行なうと電子回路部品の温度が高くなり、焼損の原因になります。

4. 締付けトルク

下図に示す締付け条件でのボルトサイズごとの締付けトルクをWH 12VCは下図、WH 12VDは次ページの図に示しますので参考にしてください。なお、締付けトルクは締付け条件により変化するので一応の目安としてください。



* ボルトは右記を〔普通ボルト：強度区分 4.8〕
使用しています。〔高力ボルト：強度区分 12.9〕

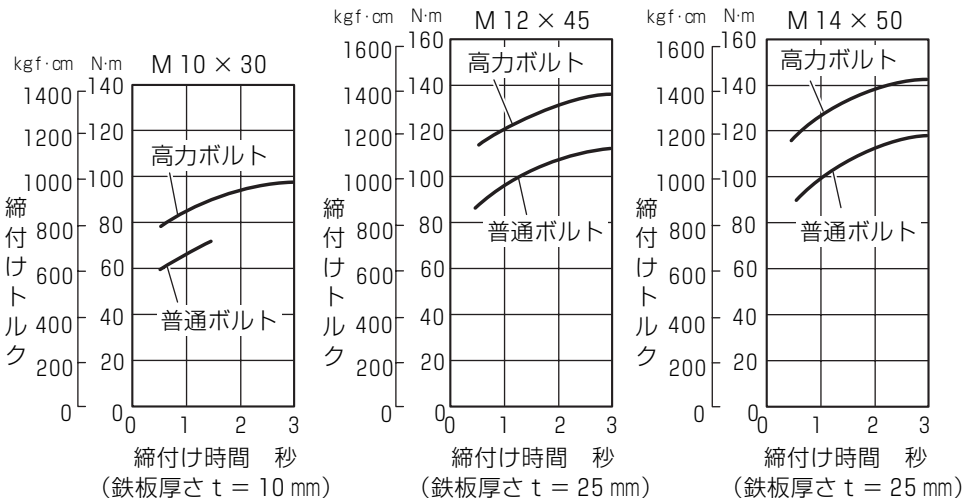
強度区分の説明

4.8

→ボルトの降伏点 $320 \text{ N/mm}^2 \{ 32.6 \text{ kgf/mm}^2 \}$

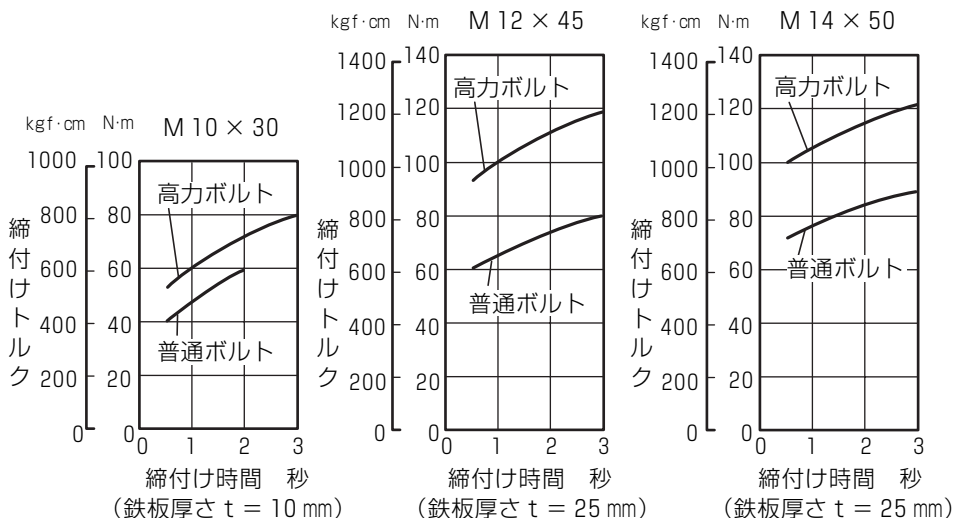
→ボルトの引張強さ $400 \text{ N/mm}^2 \{ 40.8 \text{ kgf/mm}^2 \}$

○ WH 12VC の場合



(次ページに WH 12VD の場合を示す)

○ WH 12VD の場合



5. ボルトに合ったソケットの選定

ボルト、ナットのサイズに合ったソケットをご使用ください。

サイズの異なったソケットを使用すると適正な締付けトルクが得られないだけでなく、ソケットやナットを損傷します。

6. ねじ径に合ったビットを使用する

ねじ径に合ったビットを使用しないと、ねじ頭部を傷めるのでご注意ください。

7. ねじに合った締付け時間で

ねじの適正締付けトルクはねじの材質やサイズ、締付け物の材質などによって異なるので、ねじに合った締付け時間で作業してください。

特にM 8 以下の場合は、締付け時間を長くするとねじが切れることがあるので、事前に締付け時間と締付けトルクを確認してから作業してください。

8. 機体の保持と押し付け

機体は両手で確実に保持してください。

機体を保持した際には、ねじやボルトに対して機体がまっすぐになるようにしてください。また、機体は必要以上に押し付ける必要はありません。

ソケットや錐、ホールソーをご使用の際は、機体をこじる力が過度にかかると機体の故障の原因になるのでご注意ください。

- 注** • 締付けるねじに対し、機体が斜めになるとねじ頭部を傷めたり、所定の締付けトルクがねじに伝わらないので、締付けるねじと機体はまっすぐにして締付けてください。

保守・点検



警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. ドライバビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドライバビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めるので新品と交換してください。

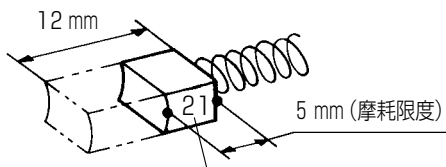
2. 各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

3. カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因になりますので、長さが摩耗限度（5 mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。



カーボンブラシの番号
(番号 21 はコードNo.の下
2 桁を示しております。)

また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

- 注** • 新品と交換の際は、必ず図示の番号（21）の日立カーボンブラシを使用してください。
指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

交換方法

カーボンブラシは、⊖ ドライバーなどでブラシキャップ（6 ページの図参照）をはずすと取り出せます。カーボンブラシは、必ず 2 個同時に交換してください。

4. モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

- 注** • モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。
定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
ゴミやほこりの排出に効果があります。

5. 機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | |
|--|---|---------------------|
| <ul style="list-style-type: none">○ おお様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|--|---|---------------------|

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないで買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※(外観などの一部を変更している場合があります。)

メ

モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

●全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル) ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル) ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0031	金沢市広岡二丁目13番37号(ST金沢ビル) ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル) ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル) ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 ― お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター フリーダイヤル 0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

